

「スポーツが持つ力～豊かな“ひと” “まち” づくり～」

1. 目的 障がい者スポーツの第一人者からの講演やパネルディスカッションをとおして、スポーツが人やまちづくりに与える力や、障がいに関わらず市民誰もが暮らしやすく、その人らしい暮らしを送ることができるまちづくりなどについて理解を深め、今後の地域での活動等につなげていくことを目的として開催します。
2. 主催 名寄市
3. 共催 名寄市社会福祉協議会／なよろスポーツコミッション／名寄市立大学
4. 日時 令和元年5月18日（土） 13：30 ～ 15：00（受付13：00～）
5. 場所 名寄市民文化センター 多目的ホール（名寄市西13条南4丁目）
6. 日程 13:00 受付
13:30 開会
13:35 講演「スポーツが持つ力～豊かな“まち” “ひと” づくり」
講師 河合 純一 氏
日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンス戦略部
日本パラリンピアンズ協会 会長
パラリンピック水泳競技メダリスト(日本人最多メダル獲得)

14:40 パネルディスカッション「スポーツの発展とまちの発展」
パネラー 河合 純一 氏
日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンス戦略部
加藤 剛士
名寄市長
荻野 大助
名寄市立大学保健福祉学部教養教育部 准教授

進行 黒井 理恵
なよろスポーツコミッション事務局次長

トップアスリートとして第一線で活躍され、現在は地域におけるスポーツ振興に携わっている河合氏から、スポーツが個人や地域にもたらす効果について、また日本で初となる全盲の普通学校教員になられるなどのご経験から、障がいに関わらず地域で支え合って暮らしていくことの大切さなどについてご講演いただき、その後、スポーツが地域にもたらす効果についてパネルディスカッションをとおして考えていきます。

15:30 閉会

7. 参加対象 どなたでも参加いただけます。
8. 参加費 無料
9. 申し込み お電話、FAX、E-mailなどで5月10日(金)までにお申し込み下さい。
10. その他
- ・公益財団法人北海道市町村振興協会 地域づくりセミナー開催支援金を受け実施します。
 - ・名寄市社会福祉協議会主催「令和元年度第1回市民ボランティア講座」として開催します。
 - ・手話及び要約筆記通訳がつきます。

◇講師紹介

河合 純一 氏 日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンス戦略部
日本パラリンピアンズ協会 会長
パラリンピック水泳競技メダリスト（日本人最多メダル獲得）

1975年、浜松市生まれ。15歳のときに全盲になる。
その後、早稲田大学を卒業し、母校である舞阪中学校に社会科教諭として着任。全国初の全盲の普通学校教諭として8年間教壇に立つ。
また、東京大学大学院教育学研究科付属バリアフリー教育開発研究センター協力研究員として、学校・社会教育におけるバリアフリー教育カリキュラムの開発・研究に携わる。
5歳から始めた水泳では、1992年のバルセロナ大会からロンドン大会まで6大会連続でパラリンピックに出場し、金メダル5個を含む日本人最多記録となる21個のメダルを獲得する。

～経歴～

1992年 バルセロナパラリンピック出場（銀2個、銅3個）
1996年 アトランタパラリンピック出場（金2個、銀1個、銅1個）
1998年 舞阪中学校着任 水泳部を指導
2000年 シドニーパラリンピックに日本選手団主将として出場（金2個、銀3個）
2003年 早稲田大学大学院に進学 障がい理解教育に関する研究を行う
2004年 アテネパラリンピック出場（金1個、銀2個、銅2個）
2007年 静岡県総合教育センター教育支援部特別支援教育課指導主事 着任
2008年 北京パラリンピック出場（銀1個、銅1個）
2012年 ロンドンパラリンピック出場

～役職等～

（一社）日本パラリンピアンズ協会会長／（一社）日本身体障がい者水泳連盟会長
（公財）日本障がい者スポーツ協会評議員/日本パラリンピック委員会運営委委員
アジアパラリンピック委員会選手委員会委員
（公財）東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会アスリート委員会副委員長
東京大学大学院教育学研究科付属バリアフリー教育開発研究センター協力研究員
早稲田大学・上智大学・筑波大学非常勤講師

～出典～

「夢 追いかけて」（2003年） 自伝映画

【お問い合わせ・お申込先】

名寄市社会福祉協議会（地域支援係）

〒096-0011 名寄市西1条南12丁目 名寄市総合福祉センター

TEL：01654-3-9862 / FAX：01654-3-9949

E-mail：chiiki@nayoro-shakyo.jp